

平内町
議会議員

第5号
2017年10月20日発行



田中だい通信



着実！ひとつずつ！変わる平内！変わる未来！



所管事務調査

8月28日、町議会総務福祉常任委員会所管事務調査を実施しました。町有施設（主に廃校舎）を視察し、議論いたしました。なかでも、旧内童子小学校は、現在『平内町学校歴史伝承庫』として使用されており、廃校となった町内18小学校の資料を展示し、毎年お盆に一般公開しております。お盆以外でも予約いただければ公開可能とのことです。町有施設をそのまま放置しておくのは勿体ない話です。再利用を自分なりに考えてみます。



県下議員研修

7月20日、毎年恒例の『県下町村議会議員研修会』に参加しました。講師は、テレビでお馴染みのジャーナリスト須田慎一郎氏でした。これからの政治や、政治の裏話をおもしろおかしく語っていただき、有意義な講演会でした。



第1回議会報告会開催

11月8日18時から山口コミュニティセンターと清水川コミュニティセンターで。11月9日18時から勤労青少年ホームにて、初めての議会報告会を開催することとなりました。私は、11月8日は山口コミュニティセンター、11月9日は勤労青少年ホームで、司会と議会活性化特別委員会の報告をします。10月25日に毎戸配布でチラシが配布されますので、お気軽に参加して下さいますようお願い申し上げます。

平内チーム大健闘！県民駅伝大会



9月3日に開催された第25回青森県民駅伝大会。平内町チームは、総合14位、町の部5位と大健闘いたしました。なかでも7区では、戸澤愛織さんが区間3位と大活躍でした。選考会により選ばれた選手団は、ほぼ毎日の練習に励んできたと伺っております。『それぞれの思いを胸に』。平内町チームの皆さん、おめでとうございます。

平成29年第三回議会定例会一般質問

「教育行政について」

教職員多忙化解消の取組について

田中大 私はこれまでPTA活動を通して学校教育との関わりを持たせてもらった経緯もあり、自分の子供を含め、多くの子どもたちの存在も身近に感じることができました。PTA活動に参加する以前は、子供が入学してもあまり学校に足を運び機会がなく、学校が遠い存在で、学校の中で何が起きているのかさえも、気にしたことがありませんでした。

しかし、PTA役員を引き受け、様々な活動を経験する中で先生方が子どもたちを教育するために多くの労力を費やしていることを実感しました。特に、家庭や親が行わなければならない、子どもに対する躾など、多くのことを先生方にまかせっきりしている例もあり、先生方が学校で大変忙しい思いをしている。その原因が、我々保護者の意識の低さにもあったのではないかと今更ながらその責任の一端を感じているところであります。

また、学校教育では、新たに道徳が正式教科となり、更には、小学校に英語が導入されると聞いております。今でも非常に忙しい先生方に新たな忙しさの要因が増えることに「先生方は大丈夫かな」という気持ちになったのは、私ばかりではないはずです。

私は、子どもたちに充実した教育を受けさせるためには、先ず、先生方が余裕を持って仕事ができる環境を作ってやるということが非常に大事であると思うことから、今考えていることを申し上げ質問いたします。

先生方が多忙を感じている一番の原因が部活動指導であるということが度々、報道されます。私は、部活動の教育的効果は非常に大きいと考えております。しかしながら、PTA活動を通して先生方の忙しさを身近に感じた者として、何とかして忙しさを解消できないかと思っております。聞くところによると県内で学校の運動部活動を地域のスポーツクラブに移行している地域が増えているそうです。そこで、当町でも、先生方の多忙化を少しでも軽減するために、地域のスポーツクラブを立ち上げ、学校で行っている部活動を、地域で行う形に移行すべきと考えますが、理事者側の見解をお伺いいたします。

教育長

「教職員の多忙化を解消するため、学校における運動部活動を地域での総合型スポーツクラブを立ち上げて、そこに移行すべきではないか」とのご質問でございます。

田中議員は、長年にわたってPTA活動に取組み、当町の連合PTA会長はもとより、東郡の連合PTA会長も歴任され、保護者の立場から学校教育に深く関わってきた経緯がございます。

その経験からの質問と思いますが、今まさに学校教職員の長時間労働が深刻な問題で、教職員の働き方改革が議論になっている最中であることから、誠に時宜を得た質問であると思います。

国の中央教育審議会の特別部会において、先月29日に教職員の多忙化解消に向け、時間管理を的確に行うため、学校現場へのタイムカードの導入や留守番電話の導入、夏休みの一定期間を学校閉校日にし、教職員が出動しない日の設定、部活動の休養日の設定など、文部科学省に対して特別部会から緊急提言が出されたところであります。特に学校における運動部活動が教職員の多忙化の一番の要因になっていることは、様々なアンケート結果からも議員お話しのとおりであります。

当町におきましても、校長会等からの聞き取りによりまずと各学校において運動部を担当している教職員が多忙であると感じているのがほとんどであるとの報告でありました。このような状況を踏まえ、町教育委員会としましても学校運動部活動の受け皿として、子ども達のスポーツ活動を地域で引き受けられることが可能かどうかについて、平成28年度から「平内町地域課題検討会」の中において検討して参ったところであります。

その結果を踏まえ、本年5月に「平内町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」を設置し、現在、検討を進めているところであります。

これまで百年以上も学校を中心に行ってきた子ども達の体育・スポーツ活動を急に地域で担うということは、多少難しい部分もあるかと思いますが、できれば、詳細を検討しながら、より早いうちに「総合型地域スポーツクラブ」を立ち上げ、当面、小学校の運動部活動を地域スポーツクラブで実施できるよう体制を整え、教職員の多忙化の解消を図って参りたいと考えております。

管内中学校の統合とその時期について

田中大

先般、子ども議会でも小学生からの質問があり、2年前の子ども議会でも中学生から質問がありました。更には、町議会でも取り上げられております。この一連の答弁を聞いていて、私は、近い将来中学校の統合について町では、考えているとの印象を持ち、ある程度の町の方向性は、理解したつもりですが、統合の時期については、明確に示さなかったようであります。

私は、現在の町内3中学校の現状を見たとき、中学校を統合するのであれば、校舎の規模・場所等から見ても小湊中学校に統合するのが自然ではないかと考えます。しかしながら、小湊中学校の校舎は、昭和55年の建設で、既に38年経過し、老朽化が進んでいる状況にあります。

そこで先般、「青森県高等学校教育改革推進計画第1期実施計画」が発表され、当町にある県立青森東高校平内校舎が平成31年に募集停止、平成32年度末の閉校が決定したとの報道がなされました。閉校が決定して何日も経たないうちにこのようなことを申し上げるのは、在校生や来年度入学希望者の生徒さん達更には卒業生や関係する皆さんに対して、大変気が引けるところでありますが、統合後の中学校校舎として、閉校後の平内校舎を活用すべきではないかと考えます。

今回の議会一般質問は12月13日（水曜日）午前10時です。ぜひ傍聴にいらしてください。

かと考えます。

もちろん、平内校舎は、現在県の施設であり、今後の交渉次第でもあると思いますが、町の施設として譲渡されるよう、そして統合後の中学校校舎として、是非、町長・教育長には、県教育委員会へ働きかけをお願いしたいと思っています。

そこで質問であります。私は平内校舎の閉校が決定したことに伴い、管内中学校の統合を検討すべきと考えます。そして、具体的な統合の時期等を決定し、公表すべきと考えますが、見解をお伺いいたします。

町長

県立青森東高等学校平内校舎の閉校に合わせ管内中学校の統合を検討し、同校舎を統合後の中学校校舎として活用すべきでないか、そのために統合の時期を明確にし、公表すべきでないかのご質問でございます。

議員お話しのとおり、中学校の統合の問題に関しては、これまでも町議会や子ども議会において再三にわたって取り上げられて参りました。ご承知のとおり、児童生徒の減少傾向は続いておりまして、今後とも減少幅は縮小されるものの、減っていくことは予想されるところであります。

また、管内中学校の現状においても、1学年の人数が15人未満の中学校があり、教育活動や部活動に様々な影響があることは、承知しているところでございます。

しかしながら、これまでも町議会や子ども議会でもお話ししてきたとおり、小規模校であれ、大規模校であれ、それぞれに一長一短はあります。そして、統合するにしても地域や保護者の思い、将来入学する子ども達の保護者の思いなど、様々な想いがあると思います。私は、中学校統合を考える際には、第一義的には「子ども達の将来のため」ということを最優先に考えたいと思っています。

そのため、今後、それぞれの地域の皆さんや中学生の保護者、そして小学生の保護者、幼児の保護者等から広く意見を聞く機会を設け、なるべく早い段階で統合が否かを決定して参りたいと思っております。そして様々な意見を聞いて、統合と判断した場合には、その時点で時期を公表したいと考えております。

なお、平内校舎の閉校に合わせて計画を進めるべきとの事ですが、中学校の統合問題と平内校舎の閉校後の校舎活用問題は、現段階では一絡に考えるべきではないかと思っております。そこで先般、というのも平内校舎では、来年度も入学者を募集を行うということであり、現段階で統合後の中学校施設として平内校舎を活用する云々の話は、時期尚早であり、然るべき時期を待つて進めたいと考えております。

しかしながら、平内校舎の閉校が決定していること、また、平内校舎が県有施設でもあることから、施設の譲渡については、様々な方面に配慮しつつも、県教育委員会への働きかけをして参りたいと、思っております。

町政へのご提案・ご要望をぜひお知らせください！

皆様から頂いたお声は、議会で質疑したり担当課に直接要望したり、責任をもって町へ届けます！

電話 017-763-0170 FAX 017-755-4295

※この新聞は後援会討議資料です

